

# 記者発表資料

## 筑後川上流の下釜ダム・松原ダムが洪水調節を開始しました。

平成22年7月14日 13時20分発表  
九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所

平成22年7月14日下釜（しもうけ）ダム・松原（まつばら）ダムにおいて洪水調節を開始しました。  
下釜ダムでは、11時40分より洪水調節を開始し、13時00分現在、貯水位294.76mでダムに流れ込む水毎秒720m<sup>3</sup>のうち、375m<sup>3</sup>の水を貯めて、345m<sup>3</sup>の放流を行っています。  
また、松原ダムでは12時00分より洪水調節を開始し、13時00分現在、貯水位238.29mで、ダムに流れ込む水毎秒864m<sup>3</sup>のうち、130m<sup>3</sup>の水を貯めて、734m<sup>3</sup>の放流を行っています。  
13時00分現在、日田市の小淵地点では、水位3.09m（避難判断水位4.00m）です。ダムの洪水調節効果として、約50cmの水位を低下させることができました。  
今後も水位上昇が予想されますので、十分注意してください。

### 〔降雨状況〕

下釜ダム上流では7月10日17時より降り始めた雨が7月14日13時までの累加雨量で360mmに達しています。  
また、松原ダム上流では7月10日16時より降り始めた雨が7月14日13時までの累加雨量で276mmに達しています。

### 〔ダムの状況〕

現在、洪水調節を実施しており、今後、このまま降雨が続いた場合、松原ダムの放流量が増加することが予想されます。  
それに伴い、下流河川の水位上昇が予想されるので、厳重な警戒が必要です。

### ◎下釜ダム・松原ダム諸元

	下釜ダム	松原ダム
目的	①洪水調節 ②不特定用水補給 ③発電	①洪水調節 ②不特定用水補給 ③水道用水 ④発電
高さ	98.0m	83.0m
有効貯水容量	51,300千m <sup>3</sup>	47,100千m <sup>3</sup>
計画満水位	EL336.00m	EL273.00m
計画放流量	350m <sup>3</sup> /s	1,100m <sup>3</sup> /s

### 〈問い合わせ先〉

国土交通省九州地方整備局 筑後川ダム統合管理事務所

副 所 長 本 多 力

TEL (0942) 39-6651 (内線 202)